

生物多様性が向上する「事業所の森」を目指して



活動場所

サンデンフォレスト
(群馬県前橋市粕川町中之沢7番地)



活動目的

「環境と産業の矛盾なき共生」の具現化を目指し、生物多様性が向上する森林・緑地を再生するとともに、環境教育・自然体験を通じて、森-人-生きもの”が繋がっていることを伝える体験機会の場とする。

活動内容

●森林・緑地の育成

造成から18年を迎え、当時植林した樹木は成長し、一斉に間伐時期を迎えています。木を育てる段階から、森を作る段階になり、緑地としての森林から本当の森林への移行に取り組んでいます。

●自然環境モニタリング

造成前の1997年より継続して行っている自然環境モニタリング調査。自然環境を評価するだけでなく、管理業務に活かす指標としても活用しています。現在は、在来種に負の影響をもたらす外来種の駆除に力を入れています。

●間伐材活用

間伐期を迎えている森林の間伐と利用の循環を生み出すために、森の恵みとして間伐材を商品化し、販売をしています。

●学校との連携（地域にひらかれたカリキュラム）

小学校では2020年4月より、新学習指導要領に基づき教科書が改訂されました。「社会（地域）に開かれた教育課程」という理念に基づき、サンデンフォレストでも学校の実情を理解し、学び方を見直し、より授業とつながりのあるプログラムを心がけています。

●体験型プログラムの開発・提供

森林、間伐、放棄竹林、間伐材の活用、外来種駆除など、サンデンフォレストの自然を通じ自然環境や今起きている問題について伝えるプログラムを行っています。

●自主活動支援

地域の方にも広く利用してもらうために、フィールド・道具の貸出し、プログラムのサポート等を行っています。

PRしたいポイント

▼自然環境モニタリング調査の、定量調査から定性調査への変更

造成後約10年間は、生物種数を調べる調査を行っていました。2014年の調査で、造成前を上回る数値が確認されたので、自然環境の復元を問う調査から、目指す森林の指標種を設定し、多様な生物が生息する場所となっているかを問う調査に変更しています。

活動効果、今後の展開 等

- 森林の回復は、時を重ねるほど充実してきており、フクロウ・ヤマネなどの生物も見られるようになりました。
- これまで重ねてきたノウハウを自分たちだけのものにせず、地域外部組織と連携し、面的な広がりをもった調査、活動を展開していきたいと考えています。

サンデンフォレスト（管理運営：サンデン(株)施設管理セクションECOSチーム）

<https://www.sandenforest.com/>